

社会医療法人 慈生会

# 介護老人保健施設 イルアカーサ



## 介護老人保健施設イルアカーサについて



### • 理念

家（うち）へ帰ろう

### • 基本方針

- 病気に打ち勝ち家へ帰ろう
- 活力を取り戻し家へ帰ろう
- 穏やかに永遠の家へ帰ろう

- 入所定員 : 100名
- 提供サービス : ショートステイ  
通所リハビリテーション（40名定員）  
訪問リハビリテーション
- 理学療法士 6名、作業療法士 1名（2024年12月現在）



## 所在地、アクセス



- ・所在地 : 東京都足立区六木4-9-10
- ・アクセス  
つくばエクスプレス「八潮駅」より徒歩17分  
八潮駅より 亀有駅行き「六木小学校」下車 徒歩1分  
綾瀬駅より 六木都住行き「六木小学校」下車 徒歩1分  
亀有駅より 八潮駅南口行き「六木小学校」下車 徒歩1分

近くに桜並木や用水路があり、自然豊かな環境。屋外歩行や外気浴を季節に合わせて楽しめます。



## イルアカーサが大事にしていること



よく学び



よく遊び



よく動く

イルアカーサはリハビリテーションスタッフ、看護師、介護職員、栄養士、相談員との多職種連携を大事にして働くことができます。3本柱を基本に、利用者様がイキイキと、笑顔で暮らすことを大切にしています。



## イルアカーサが大事にしていること ～よく学び～



### おとなの学校

自立意識や生活意欲を高めることを目的とした、いわゆる「学校」をコンセプトとしたカリキュラム。認知症緩和が期待される回想法を取り入れた「おとなの教科書」という外部教材を使用します。職員が先生役となり、授業の教科科目は、国語・算数・理科・社会・英語・音楽・美術・家庭科・保健・体育と10教科の教科書形式。どの教科も回想法をもとに編集され、重度の認知症高齢者の方が参加しても、数多くの発言を引き出しながら、その方の生活意欲を引き出すように職員一人一人が関わっています。



## イルアカーサが大事にしていること ～よく遊び～



### 季節ごとのイベント

お花見や納涼祭、運動会など、全職種が連携、協力してイベントを開催。リハビリ中とはまた違う、利用者様の活気ある表情を見ることができます。

### アクティビティ

日々のリハビリテーションの中でもアクティビティを意識した活動を行っています。季節にちなんだ制作や、作った飾りを利用して運動を取り入れたリハビリならではのアクティビティをスタッフみんなで楽しく考えています。「やってみよう!」「楽しそう!」の発想をみんなで形にでき、利用者様の趣味や生活歴を活かした関わりを持つことができます。

### 多彩なボランティア活動

音楽ユニット、折り紙、パステルアート...多種多様な趣味活動を地域の方々のご協力のもと楽しんでいます。





## イルアカーサが大事にしていること ～よく動く～



### リハビリ室

広いスペースや充実した設備で多様な訓練が行えます。  
歩行トレーニングロボットや物理療法器具、マシントレーニングも充実しています。



### 最新の機器を積極的に取り入れています

等潤病院（急性期・回復期）と同じ評価機器を使用でき、タニタ体組成計やAIアプリ『リハケア』など多様な方法で利用者様の評価を行うことができます。



### カンファレンス

スタッフ全員で話し合い、利用者様それぞれに合った対応、プランの見直しを定期的に行っています



## リハビリテーション業務について

### ～入所リハビリテーション～

病院を退院し、在宅復帰を目指す方などに対して、リハビリを行います。また、自宅で生活している利用者様のショートステイ時のリハビリも担当しています。居宅訪問も積極的に行い、一人でも多くの利用者様が在宅復帰できることを目指しています。退所後も、イルアカーサの通所リハビリなどを利用していただくことで、利用者様の生活を長く継続して知ることができます。

通所

訪問

入所

### ～通所リハビリテーション～

地域で生活する方を対象に1日型、短時間型などの通所リハビリサービスを提供します。最新機器を積極的に取り入れ、利用者様の状態を「見える化」した評価やプログラムが好評です。法人内の『わくわく倶楽部（デイサービス）』との連携・交流も多く図っています。

### ～訪問リハビリテーション～

主にイルアカーサを退所した利用者様を対象に、訪問リハビリを実施しています。実際に家に帰った後の生活を評価し、自宅の環境整備、動作指導などを行います。家事や外出、通院などの自宅内外での生活に関する目標が達成できるよう支援します。

## イルアカーサで学べるスキルとは

### 生活期のリハビリテーションを学べる

イルアカーサでは、入所・通所・訪問の3分野でのリハビリテーションを行っています。病院を退院したあとの生活や、自宅の中での動作・環境設定等について、病院の中でのリハビリテーションだけではイメージしにくい部分が見えてきます。



### 介護保険分野の知識が増える

介護老人保健施設でリハビリテーションを行う上で、介護保険制度は切り離せないものです。制度について他人任せにせず自分たちで調べ、話し合い、理解を深め、毎日の仕事をするなかで自然に介護保険制度についての知識をたくわえることができます。

### プレゼンテーション能力が高まる

施設内では、「おとなの学校」の先生役を全職員が経験できることを目標にして取り組んでいます。台本もあり誰でも始められることが利点です。利用者様の発言も多く、楽しい時間を過ごせます。カンファレンスや家族の方との話し合い、他事業所との会議では利用者様の状態をわかりやすく話す必要があります。そのような場面を経験することで、『まとめる・話すチカラ』が身につきます。



## こんな心配はありませんか？

### いきなり介護老人保健施設って、大丈夫かな・・・

イルアカーサでは、急性期病棟、回復期病棟を要する等潤病院と電子カルテを共有しています。等潤病院での治療やリハビリ経過について知り、利用者様の医療的な背景や検査結果、画像についてしっかりとした情報を持ってリハビリテーションに臨むことができます。また、病院をはじめ法人内の様々な分野を経験してきた先輩がそろっています。病院と同じように評価やアセスメント、訓練などリハビリテーションに必要な技術や知識、能力を先輩セラピストの指導のもとで学び、高めることができます。



### 相談する相手はいるのかな・・・

施設に勤務するセラピストの人数は少ないですが、その分コミュニケーションを取りやすいことが利点です。また、法人内の連携により、等潤病院で行われる勉強会や研修に参加することも多く、同世代のスタッフとの交流を図ることもできます。



# 介護老人保健施設イルアカーサで 一緒に働きたい！という みなさまをお待ちしています！



連絡先  
等潤病院リハビリテーション部 担当 関根  
電話番号 03-3850-8711  
メールアドレス y-sekine@jiseikai-phcc.jp

イルアカーサのホームページです。  
日々の楽しいアクティビティやイベントの  
様子を随時アップしています。  
実は、写真撮影にはリハビリテーション職員  
が関わることも多いんですよ。  
一度アクセスしてみてください。



イルアカーサ  
採用情報はこちら！



イルアカーサ  
HPはこちら！

